

第6章 環境保全への理解と取組

第1節 環境教育

1 学校教育

(1) 概要

高松市教育委員会は、市内の小・中学校において、環境教育を「教育指針」の中で推進項目としてとりあげ、指導を行っています。具体的な指導項目については、以下の3点です。

ア 教育課程に位置づけた、学習指導要領における環境教育に関わる内容の指導を計画的に実施する。

イ 環境学習についての意見交換やごみ処理施設の見学等を通して、学校における環境教育の充実を図る。

ウ 地域の水環境、水文化、節水と水の有効利用に対する、幼児児童生徒の意識を高める。

(2) 子ども環境学習交流会の開催

地域や学校の実態に応じて行われている様々な環境学習について、子どもたちが意見交換をしたり、環境保全にかかわる体験をしたりして、環境に対する意識を一層高め、環境教育の推進を図っています。環境学習交流会では年々、各校の取組発表の内容が充実してきており、環境教育の充実がうかがえます。

平成18年度から、市町合併に伴い学校数が増加したこともあり、高松市立の小・中学校を2班に分けて隔年での参加としました。そして、平成25年度は、昨年度に参加していない学校を対象に、7月25日(木)、7月30日(火)に南部クリーンセンターで開催しました。2日間で、172人の児童生徒、35人の教員、31人の保護者が参加しました。

(3) 小学校社会科副読本の発行

学校教育を通してごみ処理に対する理解と正しい知識を学んでもらうことを目的に、副読本「きれいな高松に・くらしとごみ」を高松市小学校社会科研究会所属の先生方の編集

により毎年度発行し、小学校4年生の社会科の補助教材として活用しています。

(4) 水資源に関する教育の推進

中学生を対象とした「香川用水の水源巡りの旅」を実施し、香川用水及び水資源に対する認識を深めています。平成25年度は、4月から9月にかけて16校(参加生徒数 2,732名)が参加し、池田ダム、香川用水記念公園、東西分水工、早明浦ダムを見学しました。

水源巡りの旅の後、水についてグループ別に調べ、発表会を実施するなど、総合的な学習の時間等を有効に活用し、体験と調べ学習、啓発活動を一体化した環境学習を展開する学校が増えてきています。

(5) 各学校における取組

ア 屋島小学校の取組「やしまの活動」

(ア) ねらい

- ・ 屋島の動植物の生態を知り、それらについて課題をもち、探究する。
- ・ 生き物や植物を守り、屋島の良さを伝えるための工夫について考え、できることを実行する。
- ・ さまざまな活動の中で出会う人たちから考え方や生き方を学び、自分の生き方に生かそうとする。

(イ) 主な活動

a 4～6月

「屋島の生き物や不思議を調べよう」

実際に屋島に登って観察したり、環境に詳しい講師の先生のお話を聞いたりすることで屋島の豊かな自然や屋島の自然の魅力について知ることができた。

・里山クラブの方から 5月【屋島について】



屋島は瀬戸内海国立公園に位置しているよ。史跡もたくさんあり、天然記念物にもなっているそうだ。

・野鳥の会の方から 6月【ミサゴの観察】



高い木の上に巣を作って、ひなを育てているよ。しかし、最近では数が減ってきているんだって。

b 7～9月

「夏休みを生かして環境調査や地域環境イベントに参加しよう」

夏休み前の活動をもとに、自分が興味を持ったこと、疑問に思ったことについて、調査・観察調べ活動を行った。また、地域の環境についてももっとよく知るために、環境イベントにも参加した。

(活動内容例)

環境調査【屋島の地形】

- 火山活動で形成された屋島
- メサ・ビュート状地形
- 屋島の地質

環境調査【景色】

- 見る場所によって形を変える屋島
- おすすめの景色

環境調査【鳥・昆虫】

- ミサゴの観察と調べ
- ヒメボタルの調べ
- ヒメボタルウォークへの参加

地域環境イベント参加

- さぬき満月まつり
- 源平屋島納涼
- 屋島夕夜景フェスタ
- 石灯りロード

c 10～11月

『ウォーク・イン・屋島』で、屋島環境ガイドをしよう」

10月の環境キャラバン隊の方との交流会では、「外来生物」についてのお話を聞き、「外来生物」が私たちの生活に大変身近なものになり、その存在が問題になっているものもいることを学んだ。

11月の「ウォーク・イン・屋島」では、4年生が「町」、5年生が「自然」、6年生が「歴史・史跡」をテーマに、やしまの活動で調べてきたことを保護者や縦割り班の児童に表現方法を工夫しながらガイド



した。また、ライオンズクラブの方たちと一緒に清掃等のボランティア活動も行った。

d 12～3月

「ふるさと屋島の環境を守るために、できることを考えて実行しよう」

自然の豊かな美しいふるさと屋島を知ってもらうために、またそれを守りつづけていくために、自分たちにできることを考えて実行した。

(ウ) まとめ

やしまの活動を通して、屋島の自然のすばらしさを改めて知ることができ、「屋島ってすごい」「この豊かな自然を守っていかねければ」という思いを強くした。また、身近なところでよりよい屋島になるように日々活動している地域ボランティアの方の存在に気づき、私たちがそんな方々に近づきたいと思った。

イ 龍雲中学校の取組

本校では、生徒会と1年生(総合的な学習)を中心に環境学習を進めています。よりよい環境づくりのために、自然や人に主体的に関わろうとすることを目標としています。

(ア) 服のチカラ

～UNIQLO RECYCLE 世界中の服を必要としているすべての人に、本当によい服を～

服は使い捨てるものではありません。世界には本当に服を必要としている人が、たくさんいます。できるだけ多くの人の服を回収し、困難な環境で暮らす人々への支援の輪を広げたいと考えました。私たちの着なくなった服が役に立つのであればと、全校生に呼びかけたところ、ダンボール30箱もの衣類が集まり、ユニクロを通じて世界各地に届けてもらいました。



(イ) 地域の環境を守る

～高松秋の祭り「仏生山大名行列」～

地域のお祭りである仏生山大名行列に、部活動単位でボランティアスタッフとして参加しました。公園内のゴミ拾いやエコステーションでのゴミの仕分けなど地域の方々と一緒に活動しました。私たちが動くことで以前よりゴミが少なくなったり、不法投棄がなくなったりしたという声を聞きました。また、この他にも地域の清掃などにも取り組みました。



(ウ) ピカピカ清掃

～お世話になった

小学校・幼稚園・保育所を訪問～

出身小学校や近隣の幼稚園や保育所で花の苗植えや、清掃活動に取り組みました。児童や園児と共に活動し、先輩として優しく接することができました。また、お世話になった先生方にも、成長した私たちの姿を見ていただけたのではないかと思います。



(エ) エコタウンと芸術の島 in 直島

～環境問題を学習し、芸術にふれよう～

近年、直島は世界的にもアートの島として知られるようになりました。ベネッセハウスミュージアムや本村地区の「家プロジェクト」の見学をし、現代アートを利用した新しい環境づくりも知ることができました。また、直島の持つもう一つの側面でもある、直島精錬所での豊島廃棄物の中間処理施設を見学し、環境問題の生々しさに触れることができました。



(オ) 雨活 ～雨活アイデアコンテスト～



雨に感謝し、雨を活かそう。雨水を私たちの生活の中で有効に活用するにはどうしたらいいだろう。私たちは雨水を活用するアイデアを考えました。雨水はどんな使い道があるかな。雨水をためるよい方法はないかな。雨水は活用しないともったいない。作文にしたり、ポスターにしたり、自由研究でまとめ

たり、スローガンを作ったりと様々な方法で表現しました。

(6) チャレンジ！グリーン活動

平成14年度から香川県教育委員会が実施している「チャレンジ！グリーン活動」に参加し、資源の有効活用等に積極的に取り組む教育活動の推進を通して、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる児童生徒の育成を目指しています。

平成25年度は12校、14の推進グループが参加して、自主的に活動内容を考え、栽培、緑化運動、自然保護活動、リサイクル推進活動、プルタブ・アルミ缶の回収活動、地域清掃等の活動に取り組みました。

学校数・グループ数 (平成 25 年度)

学校名	グループ数
栗林小学校	1
高松第一小学校	1
太田小学校	2
林小学校	1
下笠居小学校	1
十河小学校	1
木太南小学校	1
古高松南小学校	2
屋島東小学校	1
塩江小学校	1
上西小学校	1
香東中学校	1
12学校	14

2 社会教育

(1) 高松エコマイスター会議

私たちを取り巻く様々な環境問題を解決していくためには、市と市民・事業者のパートナーシップを築いていくことが不可欠です。

こうしたことから、そのパートナーシップを築いていくための一つの手段として、平成11年度からの2年間、市民の自発的な環境行動を

支援するリーダーとしての役割を担うエコマイスターの養成事業を行いました。

平成13年4月、この養成講座の修了者が活動の輪を広げるため、自主的に集まり、高松エコマイスター会議を結成しました。

この事業活動の一環として、親子自然体験プログラム「エコマイスター自然学校」を開催しており、市民の自発的環境行動への支援事業を展開しています。



ア 「歩こう・触れよう身近な秋！エコマイスター自然学校 2013」

開催日 : 平成 25 年 11 月 17 日 (日)

開催場所 : 峰山公園

参加者 : 親子 2 組 5 人

(2) こども農園事業の実施

子どもたちに、農作業を通じて自然にふれあえる機会を提供し、農作物を育てる喜びと、勤労の尊さを体験させる場としてこども農園事業を実施し、健康で情操豊かな子どもの育成を図っています。

(巻末資料172P <資料82>)

平成 25 年度 10 農園 5,565 m²



こども農園事業の様子

(3) 早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」

本市と高知県嶺北地域の子どもたちが、早明浦ダム湖畔などで交流活動を行い、水の大切さや有効利用を学ぶとともに、自然の中で友情を深め、健康で明るい子どもの育成を図っています。

【平成25年度】

実施日：8月22日及び23日の2日間

実施場所：高知県土佐郡土佐町

高松からの参加者：子ども20人



早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」の様子

(4) 市民文化センターの昆虫展示室

平成24年3月に閉館した市民文化センターの昆虫展示室（床面積約170㎡）には、県内を中心に世界の有名な昆虫の標本3,770個体、約800種（128箱）を集め、「ふるさとの昆虫」、「昆虫の生態と分類」、「昆虫と文化」、「カブトムシの巨大模型」、「昼と夜の樹木に集まる昆虫」の五つのコーナーを設けて展示していました。

子どもたちが、自然に親しみながら昆虫の種類や名前、生態を楽しんで学習できるよう各コーナーごとに環境写真や分布図・解説文を添えたユニークな展示をしていました。

特に、環境の変化に伴い絶滅が危惧されている種については、レッドマークの表示を行っていたほか、近年の地球温暖化などによって、分布が広がり県内でもよく見られるようになった昆虫も分かりやすく展示していました。

なお、現在は、市民文化センターの閉館に伴い展示を休止していますが、新しく整備する「こども未来館（仮称）」にも昆虫標本展示室を設けることにしています。



昆虫展示室の様子

(5) 環境展

市民の環境意識の向上を図るため、国の定めた6月の「環境月間」に併せて環境展を開催し、「瀬戸・高松広域定住自立圏事業」の活動写真を始め、太陽光発電システムや緑のカーテンなどを紹介したパネル展示のほか、環境美化などの周知啓発を行いました。

ア 開催期間

平成25年6月10日（月）～6月14日（金）

イ 開催場所

市役所1階 市民ホール

ウ 主な内容

(ア) パネル展示

- ① 太陽光発電・太陽熱利用システム補助事業の紹介
 - ② レジ袋削減等の啓発、生ごみ処理機補助事業の紹介
 - ③ 環境省高松事務所の取組(家電リサイクル等)の紹介
 - ④ 経済産業省四国経済産業局の取組(節電対策等)の紹介
 - ⑤ 五色台ビジターセンターの活動報告
- ##### (イ) 不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦の紹介
- ① 地域の子どもたちとの環境意識啓発活動の紹介
 - ② 瀬戸・高松広域定住自立圏事業活動報告
 - ③ ゴミの分別・出し方コーナーの設置

(ウ) その他

- ① 電気自動車の展示
- ② 香川県地球温暖化防止活動推進センターによる「うちエコ診断」の実施
- ③ たかまつ緑のカーテン・コンテストの案内
- ④ 緑のカーテン作り方講座の実施

第2節 環境保全活動

1 環境保全推進課分室（旧環境プラザ）

環境学習の拠点施設として各種の環境学習事業を展開してきた「公の施設」としての「高松市環境プラザ」は平成23年度末で廃止となりました。

平成24年度以降は施設を環境保全推進課の分室として位置づけ、管理運営は直営とした上で無料で環境活動団体等に貸出すとともに環境学習活動に活用しています。

なお、環境学習活動は、環境保全推進課分室で行うほか、地域からの要望に応じてコミュニティセンター等でも行っています。講師は、環境活動団体等の自主的な活動を促進する観点から、環境活動団体等のメンバーが中心になって実施しています。

(1) 施設の概要

所在地：高松市西宝町一丁目13番30号

TEL：087-861-6660 FAX：087-861-7600

敷地面積：706㎡ 建築面積：320㎡

延床面積：568㎡

構造：鉄骨軽量気泡コンクリート
パネル張 一部2階建

総事業費：1億6,101万1,660円

太陽光発電設備：効率向上追求型
容量10kW

(平成15年度NEDO太陽光発電新技術等
フィールドテスト事業採択)

(2) 環境学習活動のメニュー

メニュー	概要	目的	対象者	実施場所
環境ワークショップ	主に環境保全推進課分室（旧環境プラザ）で実施する環境学習講座	環境問題全般の知識の習得や人材育成	小学生から大人まで	環境保全推進課分室等
環境学習支援事業	市民（地域）からの要望により実施する「出前講座」	地域における環境問題全般の知識の習得	小学生から大人まで	学校やコミュニティセンター、集会場等
自然観察体験事業	干潟や里山など屋外で実施する自然観察体験講座	屋外での自然観察を通じ、自然保護や生物多様性について認識を深める	小学生から大人まで	屋外
環境学習活動事業補助事業（環境活動団体等による事業）	環境活動団体等が、市からの補助金を活用して、自主的に企画・運営する学習プログラム	より専門的・効果的な学習プログラムを実施し、環境意識の啓発・向上を行う	小学生から大人まで	環境保全推進課分室等

(3) 年度別利用状況

(巻末資料172P<資料83>)

区 分	年 度	H25
来 館 者 数 (人)		2,560
開館日当たり来館者数 (人)		15
出 前 講 座 件 数		42
出 前 講 座 人 数		1,346
館 内 講 座 件 数		24
館 内 講 座 人 数		524



環境保全推進課分室 (旧環境プラザ) で学習している様子



見学説明



親子工作会



紙すき体験 (紙すき)

2 南部クリーンセンター「エコホテル」

南部クリーンセンターの管理棟には、環境問題について学習できる「エコホテル」があります。一階には紙すきや工作等を実際に体験できる「学習室」、二階にはパネルや映像を通して広く環境問題を学習できる展示ギャラリーや見学者説明室があり、見たり、聞いたり、また、体験を通して、楽しみながら学習できる施設です。また、見学コースは、職員の説明を受けながら、ごみ処理施設、廃棄物再生利用施設などを見学し、実際のごみ処理方法の実情を知ることができます。

(巻末資料 172P<資料84>)

平成 25 年度利用者数 3,015 人

3 衛生組合

(1) 目的・組織

地域住民によって自主的に組織されている衛生組合は、地域社会を住みよい快適な環境とするため、生活環境の改善及び環境美化運動の推進、環境及び公衆衛生思想の普及向上等に関する自主的実践活動を行っています。衛生組合の組織は、単位組合が地区ごとに地区衛生組合協議会を結成し、これら地区衛生組合協議会が連合して、高松市衛生組合連合会を結成しています。

加入世帯 → 単位衛生組合 → 地区衛生
組合協議会 → 高松市衛生組合連合会
115,218世帯 → 2,644組合 → 46地区
(平成26年3月31日現在)

(2) 活動状況

各地区衛生組合協議会等が中心となり、地区内の道路等の空き缶など散乱ごみの清掃を実施するクリーン高松推進事業への助成のほか、次のような活動を行っています。

- ア 環境美化運動の推進
- イ ごみ減量運動等の推進
- ウ ごみの正しい出し方の普及推進
- エ 住み良いまちづくりの推進
- オ 買い物袋持参運動の推進
- カ 環境衛生知識の向上等

4 その他の活動

(1) 石けん使用推進

消費者団体の協力を得て、廃食油収集事業における石けんの適正使用についての啓発など、環境保全に対する市民の理解と協力が得られるよう努めました。

(2) 廃食油収集事業

水質汚染の防止を図るため、家庭用廃食油の収集を高松市消費者団体連絡協議会及び19地区コミュニティ協議会に委託し、廃食油を持参した方に洗たく用粉石けんを提供するとともに、適正使用の啓発に努めました。

【収集場所】

環境保全推進課分室
市内22箇所のコミュニティセンター

【収集日】

環境保全推進課分室…毎月10日（10日が土・
日曜日及び祝日のときは前後の平日に変更）
各コミュニティセンター … 各地区の
指定する日
(年3～4回)

【収集時間】

環境保全推進課分室…午前10時～正午
各コミュニティセンター … 各地区の指
定する時間

廃食油収集事業により収集された廃食油は、主に精製されて豚や鶏などの飼料として再利用され、食肉や卵などの畜産物を生産する上で重要なリサイクル資源となっています。そのほかインクや塗料、洗剤などの工業用原料や、燃料としてもリサイクルされています。
(巻末資料172P<資料85>)

平成25年度収集量 6,192 0

(3) グリーンコンシューマー活動

「環境にやさしい買い物推進協議会（グリーンコンシューマーかがわ）」に設立時から参加し、買い物袋持参運動や環境に配慮した商品選択の推進などの啓発キャンペーンに参加しました。

(4) 使用済みわりばし回収

NPOグリーンコンシューマー高松の事業に協力し、平成20年4月より使用済みわりばし回収BOXを環境保全推進課分室に常設しています。NPOグリーンコンシューマー高松では、環境保全推進課分室以外にも、地域の祭りや各団体のイベント、コミュニティセンター等でも使用済みわりばし回収BOXを設置し、地域住民によるわりばし回収を行い、廃棄物の抑制、資源循環型社会の推進に努めています。(巻末資料172P<資料86>)

【回収状況（環境保全推進課分室）】

平成25年度回収量 1,171 kg